HITACHI

日立パーソナルコンピュータ

FLORA *270W* NV8/NV9

マルチメモリーカード
リーダ/ライタ取扱説明書



マニュアルはよく読み、保管してください。

- 製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。
- このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近なところに保管してください。

重要なお知らせ

- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載あるいは引用することを禁止します。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の記述内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本製品を運用した結果については前項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

はじめに

このたびは日立のシステム装置 (以下、パソコン) をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
本書には、マルチメモリーカードリーダ / ライタ（以下、リーダー / ライター）の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。
本リーダー / ライターの機能を十分に活用いただくため、ご使用前に本書を最後までお読みください。
本書はすぐに利用できるよう、お読みになったあとは、必ず取り出しやすい場所に保管してください。

また、接続するパソコンに付属のマニュアル（制限事項を含む）、およびご使用のメモリーカードのマニュアルもあわせてお読みください。

マニュアルの表記

マニュアルの中で使用している、マークの意味を説明します。

重要	重要事項や使用上の制限事項を示します。
ヒント	リーダー / ライターを活用するためのヒントやアドバイスです。
参照	参照先を示します。

目次

リーダー / ライターの概要

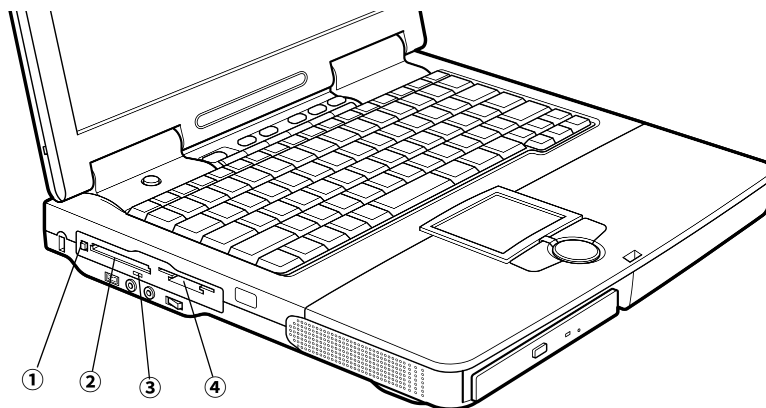
本製品の特長

● 6 種類のメモリーカードを取り扱うことができます。最大 3 種類のメモリーカードへの同時アクセスが可能です。

● Windows 標準のリムーバルディスクとして、特に専用のアプリケーションを必要とせず、ファイルやデータの移動やコピーをドラッグ アンド ドロップで行えます。
また、Windows 2000 では、専用アイコンドライバーにより、エクスプローラやマイコンピュータにわかりやすいドライブアイコンで表示されるので、誤操作の防止になります。

●ステータスモニター機能により、現在、挿入されているメモリーカードが何かわかります。
また、メモリーカードを取り出す際も、このステータスモニター機能からメモリーカードを取り出し操作が行えるのでデータ破壊を防止できます。

各部の名称



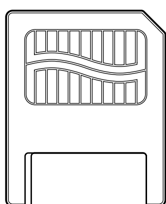
番号	名称	機能
①	イジェクトボタン	コンパクトフラッシュやマイクロドライブを取り出す時のイジェクトボタンです。
②	メモリーカード用 コネクター 1	コンパクトフラュシュおよびマイクロドライブ用のコネクターです。
③	アクセスランプ (緑色)	各メモリーカードのアクセス中に点滅します。
④	メモリーカード用 コネクター 2	スマートメディア、SD メモリーカード、マルチメディアカード、メモリースティック用コネクターです。

取り付けと操作方法

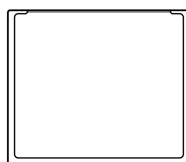
サポート OS

- Microsoft(R) Windows(R) XP Professional Operating System(以下、Windows XP)
- Microsoft(R) Windows(R) 2000 Professional Operating System
  (以下、Windows 2000)

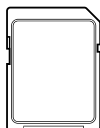
対応メモリーカード



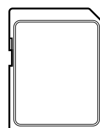
SmartMedia™
(スマートメディア)



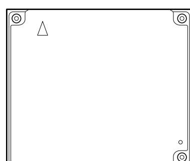
CompactFlash™
(コンパクトフラッシュ)



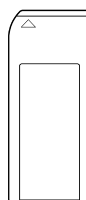
SDMemorycard
(SD メモリーカード)



MultiMediaCard™
(マルチメディアカード)



Microdrive™
(マイクロドライブ)



MemoryStick™
(メモリースティック)

重 要

	適合メディア	仕様	制限事項
1	スマートメディア	DOS フォーマットされた 2MB ～ 128MB の 3.3V タイプのカード	ID 機能付きカードは使用可能ですが、ID 機能には非対応です。著作権保護機能のある音楽データなどは取り扱いできません。また ROM カードも非対応です。
2	コンパクトフラッシュ	Type1、Type2 DOS フォーマットされた 512MB までのカード	モデム、LAN、PHS カードなどの I/O カードは使用できません。
3	SD メモリーカード	8MB ～ 128MB	SecureDigital 機能は非対応です。著作権保護機能のある音楽データなどは取り扱いできません。SD I/O カード、SD Combo カードは非対応です。
4	マルチメディアカード	16MB ～ 64MB	Keitaide-Music 対応カード使用可能。ただし、Keitaide-Music 機能には非対応。著作権保護機能のある音楽データなどは非対応
5	マイクロドライブ	340MB、1GB(IBM 社製 TYPE II 型マイクロドライブ)	消費電力大
6	メモリースティック	4MB ～ 128MB	MagicGate 付きカードは使用可能ですが、MagicGate 機能には非対応です。著作権保護機能のある音楽データなどは取り扱いできません。Memory Stick Duo も非対応です。メモリー以外の GPS などの I/O カードも非対応です。

・ メモリースティック、マルチメディアカード、SD メモリーカードは、同一コネクターを使用しているため同時使用できません。
・ コンパクトフラッシュとマイクロドライブは、同一コネクターを使用しているため同時使用できません。
・ 各メモリーカードをパソコンでフォーマット (初期化) すると、パソコン間でのデータの移動は問題ありませんが、デジタルカメラやオーディオプレイヤーなどによっては使用できない場合があります。この場合、必ず各機器側でフォーマットしてください。

ドライバーのインストール

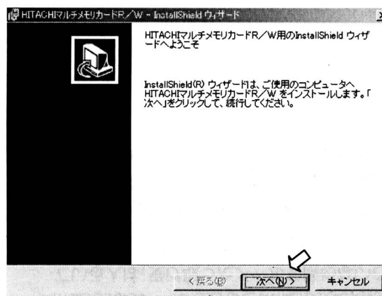
重 要

・ すでにパソコンにはリーダー / ライターが搭載されていますが、ドライバーはインストールされていません。パソコンを立ち上げた時に、Plug&Play 機能により Windows 標準ドライバーをインストールします。ただし、そのままでは、本リーダー / ライターの機能を正しく使用できません。次の手順でドライバーソフトをインストールしてください (Windows 標準ドライバーを削除する必要はありません。続けてドライバーソフトをインストールしてください)。

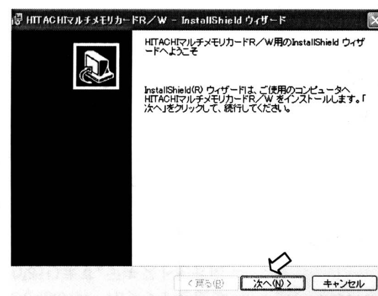
1 **管理者権限のあるユーザーでログオンする。**

2 **[スタート] − [ファイル名を指定して実行] をクリックし、「名前」に d:\programs\memrw\setup と入力して、[OK] ボタンをクリックする。**

3 **インストールの進行**

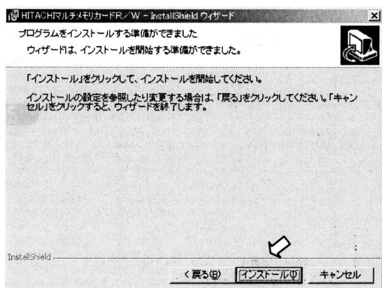


Windows 2000表示画面

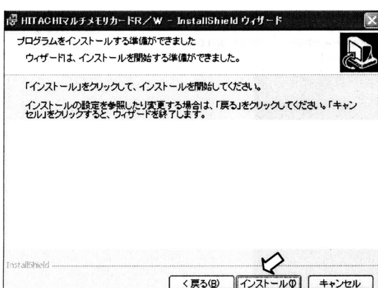


Windows XP表示画面

「次へ」をクリック

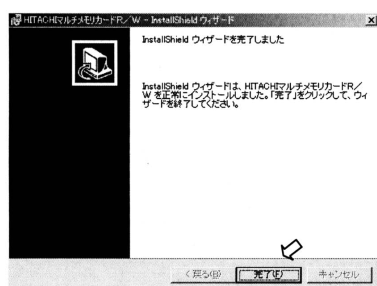


Windows 2000表示画面

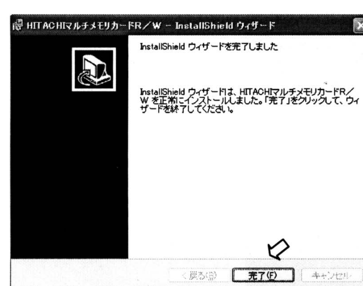


Windows XP表示画面

「インストール」をクリック



Windows 2000表示画面



Windows XP表示画面

「完了」をクリック

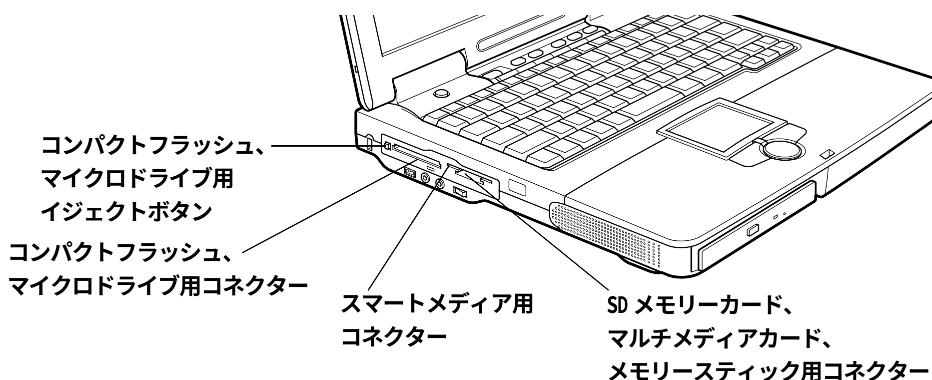
4 **インストール終了後は、パソコンを立ち上げ直す。**

5 **メモリーカードのドライブが認識されるので、再度、パソコンを立ち上げ直す。**

操作方法

1. メモリーカードの挿入と取り出し

各メモリーカードは、専用のコネクターに確実に挿入してください。



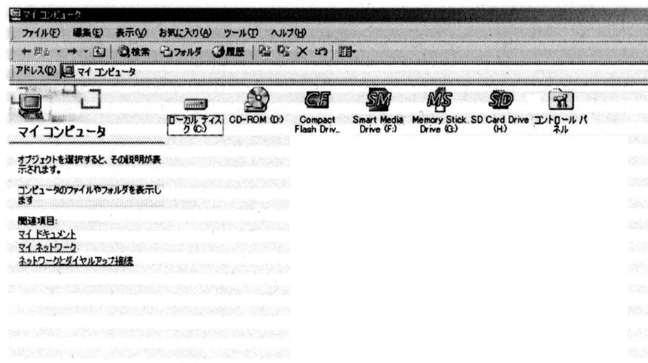
重 要

- **購入時には、コンパクトフラッシュ用コネクターにダミーのカードが挿入されています。ご使用の際は、取り外してください。**
- **SD メモリーカード、スマートメディア、マルチメディアカード、メモリースティックは、コネクターの中に完全に収納されませんので、無理に押し込まないでください。**

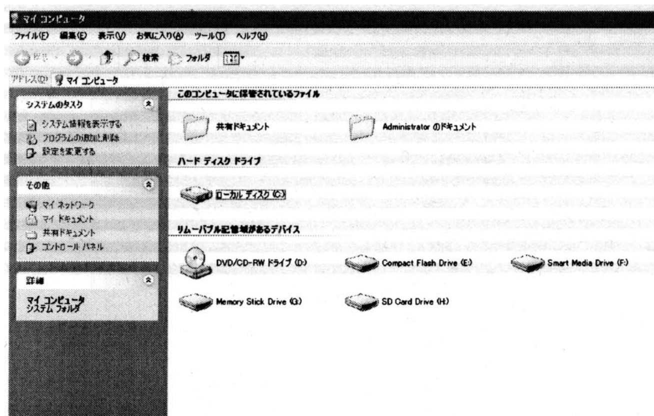
コンパクトフラッシュとマイクロドライブは、イジェクトボタンを押してから取り出してください。それ以外のメモリーカードは、イジェクト機能がありませんので、そのまま取り出してください。

2. ドライブの表示とファイルやデータの操作

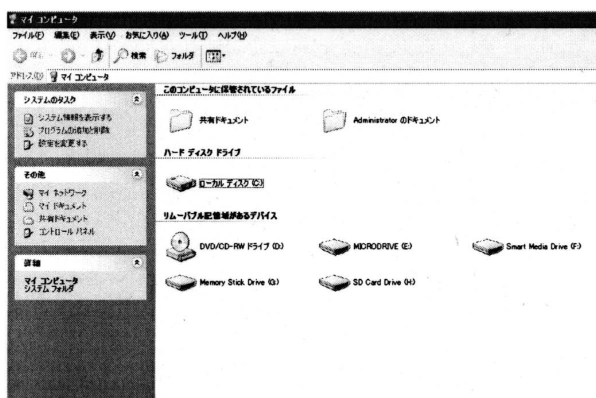
Windows が立ち上がったら、エクスプローラまたはマイコンピュータのフォルダーには新しくメモリーカードドライブアイコンが４個追加されます。次の例ではドライブ文字は (E:) から (H:) ドライブとなっています。
ドライブ文字 (E:) などはご利用中のパソコンの環境により異なります。



Windows2000表示画面



Windows XP表示画面



Windows XP表示画面
（マイクロドライブ挿入時）

メモリーカードを挿入して、対応するアイコンをダブルクリックすると、メモリーカード上のファイルが表示されてアクセス可能となります。

通常のハードディスクやリムーバブルディスクと同様に、ファイルやデータの移動・コピーをドラッグ アンド ドロップで行えます。

メモリーカードドライブアイコン		対応するメモリーカード
Windows2000	WindowsXP	
CF	Compact Flash Drive MICRODRIVE	コンパクトフラッシュ マイクロドライブ
SM	Smart Media Drive	スマートメディア
MS	Memory Stick Drive	メモリースティック
SD	SD Card Drive	ＳＤメモリカード マルチメディアカード

ヒント

・ メモリーカードをアクセスした際、ファイルサイズやファイス数によってアクセスランプ（緑色）の点滅が速くなり、点灯に見える場合があります。
・ メモリーカードの種類、ファイルサイズ、パソコンの状態によりデータの転送速度が異なります。

重 要

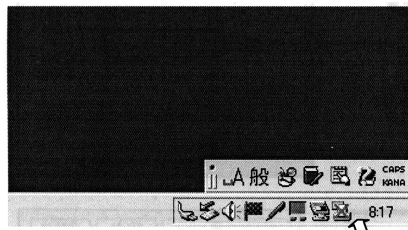
・ メモリーカードが未挿入の場合でも、ドライブは表示されます (通常のリムーバブルディスクと同じです)。
・ Windows XP ではボリュームラベルを変更するとドライブアイコンの文字が変わります。
・ メモリーカードへアクセスした際、リーダー / ライターのアクセスランプ (緑色) が点滅します。
Windows 画面上では、ファイルのコピーや移動が終わったように見えても、OS の遅延書き込みなどにより、メモリーカードへアクセス中の場合があります。メモリーカードへのアクセス状態は、アクセスランプ (緑色) を見てご確認ください。
・ ドライブアイコンが Windows 標準の「リームバブルディスク」に戻ってしまう場合があります。
この場合、動作上問題ありません。以降に説明するメモリーカードステータスモニターからご使用のドライブをご確認いただけます。
・ Windows 立ち上げ中にメモリーカードを挿入するとメモリーカードの情報が正しく認識されない場合があります。Windows を立ち上げたあとにメモリーカードを挿入してください。
・ パソコンは、リーダー / ライターに挿入されているメモリーカードから起動できません。
・ マイコンピュータの各メモリーカードの情報でフォーマットタイプやボリュームラベルが正常に表示されない場合がありますが、動作上問題はありません。
・ Windows 終了時、"explorer.exe 応答なし " の状態になる場合がありますが、正常に終了処理できます。

3. メモリーカードステータスモニターの機能

リーダー / ライターに挿入されたメモリーカードを操作できるユーティリティー機能がタスクトレイに常駐します。

（1）挿入したメモリーカードの表示

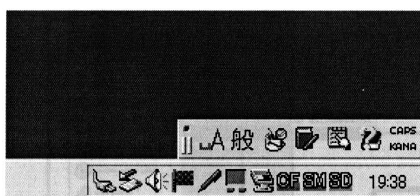
挿入したメモリーカードにより、ドライブアイコンが表示されます。



Windows2000表示画面(WindowsXPでも同じ表示)
(ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞが挿入されていない場合)



Windows2000表示画面(WindowsXPでも同じ表示)
(ｺﾝﾊﾟｸﾄﾌﾗｼｭもしくはﾏｲｸﾛﾄﾞﾗｲﾌﾞ,
ﾒﾓﾘｰｽﾃｨｯｸ,ｽﾏｰﾄﾒﾃﾞｨｱが挿入された時の表示)



Windows2000表示画面(WindowsXPでも同じ表示)
(ｺﾝﾊﾟｸﾄﾌﾗｼｭもしくはﾏｲｸﾛﾄﾞﾗｲﾌﾞ,
SDﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞもしくはﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱｶｰﾄﾞ,
ｽﾏｰﾄﾒﾃﾞｨｱが挿入された時の表示)

ヒント

・ メモリーカードを挿入しても、ドライブアイコンが変化しない場合があります。
　この場合は、パソコンを立ち上げ直してください。

（2）その他の機能

指定したメモリーカードのドライブアイコンを右クリックすると、メニューが表示されます。



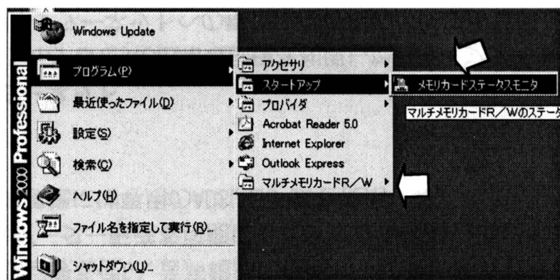
WindowsXP表示画面(Windows2000でも同じ表示)

「開く」：選択したメモリーカードのドライブを開きます。
「エクスプローラ」：エクスプローラが表示されます。
スタートディレクトリは選択したメモリーカードのドライブです。

「検索」：選択したメモリーカードのドライブ内でのファイルやデータの検索を
行えます。
「取出し」：選択したメモリーカードを取り出す際に、選択します。
「終了」：ステータスモニターを終了します
（全ドライブのステータスモニターが終了になります）。

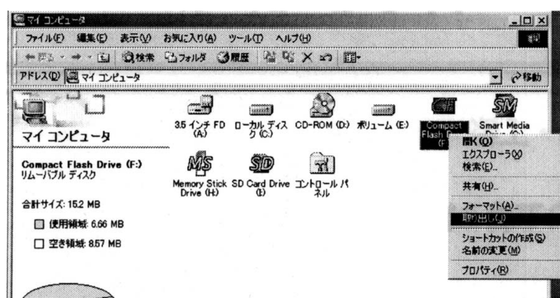
ヒント

・ステータスモニターは、スタートアップのディレクトリーに存在するため、パソコンの立ち上げ時に自動的に動作し、タスクトレイにステータスモニターが常駐します。ステータスモニターが不要の場合は、スタートアップからステータスモニターの起動ファイルを削除してください。
・再度ステータスモニターを立ち上げる場合は、プログラムから立ち上げてください(Windows XPの場合も同様です)。



重要

・**メモリーカードを取り出す場合は、必ずステータスモニターのメニューから「取出し」を選択し行ってください。**
ステータスモニターを立ち上げていない場合のメモリーカードの取り出しは可能です。
マイコンピュータやエクスプローラから取り出したいメモリーカードのドライブを選択し、右クリックするとメニューが表示されますので、その中から「取り出し」を選択してください。



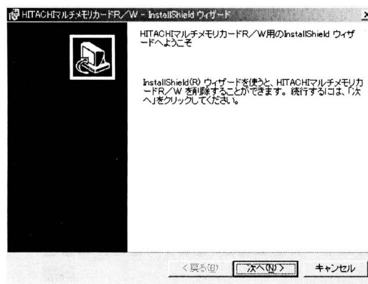
・**メモリーカードを取り出す場合は、リーダー / ライターのアクセスランプ（緑色）が点滅していないことを確認してから行ってください。意図しない OS によるメモリーカードへのアクセスがあります。**

プログラムのアンインストール

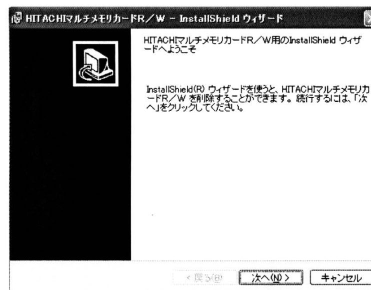
1 **リーダー / ライターにメモリーカードが挿入されている場合は、取り出してください。**

2 **ステータスモニターは、終了させておいてください。**

3 [スタート] − [ファイル名を指定して実行] をクリックし、「名前」に d:\programs\memrw\setup と入力して、[OK] ボタンをクリックする。

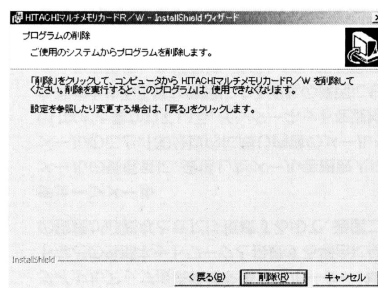


Windows 2000表示画面

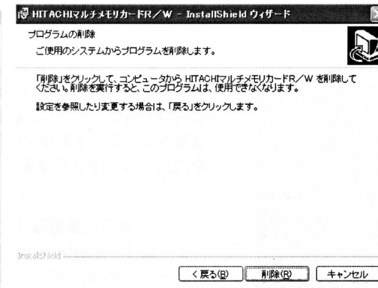


Windows XP表示画面

「次へ」をクリック

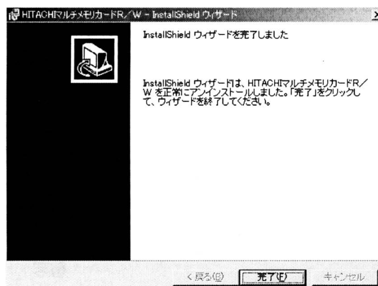


Windows 2000表示画面

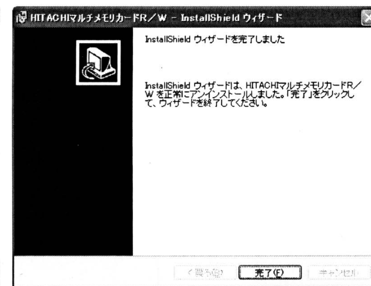


Windows XP表示画面

「削除」をクリック



Windows 2000表示画面



Windows XP表示画面

「完了」をクリック

ヒント

・ ドライバーソフト (Setup.exe) は、1 回目にインストール動作、2 回目にアンインストール動作をします (繰り返し動作)。

重要

・ **プログラムの削除後、リーダー / ライターを使用される場合には、再度ドライバーのインストールが必要となります。**

使用上の注意

フォーマット(初期化)を行う場合の注意

1 **マイコンピュータやエクスプローラで、フォーマットするメモリーカードが挿入されたドライブを選択し、右クリックする。**

2 **[フォーマット]を選択する。**

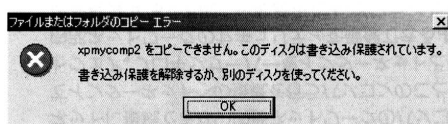
3 **[スタート]をクリックすると、フォーマットが開始される。**

重要

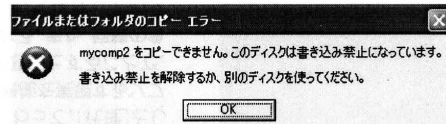
- **フォーマットを実行すると、メモリーカード内のデータはすべて消去されます。**
- **パソコンでフォーマットを実行した場合、パソコン間でのデータの移動は問題ありませんが、フォーマットの種類(FATサイズやクラスタサイズ)の違いから、デジタルカメラやオーディオプレイヤーなどでは使用できない場合があります。この場合、必ず各機器側でフォーマットしてください。**
- **「ファイルシステム」の「NTFS」は、使用できない場合があります。**

ライトプロテクト(ロック)機能を使う場合の注意

スマートメディア、SDメモリーカード、メモリースティックなどのライトプロテクト(ロック)機能を有するメモリーカードでは、書き込み禁止(ライトプロテクト)が可能です。
ライトプロテクトしたメモリーカードにファイルの移動やコピーなどのデータを書き込もうとすると、次のようなメッセージが表示され、書き込みを防止できます。



Windows 2000表示画面



Windows XP表示画面

重要

- **ライトプロテクトの使用に関する詳細は、各メモリーカードの取扱説明書に従ってください。**

スタンバイおよび休止状態をお使いになる場合の注意

1. メモリーカードに関する注意事項

重要

- **メモリーカードへファイルの移動やコピーなどのデータをアクセス中に、パソコンをスタンバイや休止状態にしないでください。**
- **スタンバイ中および休止状態中には、メモリーカードの取り出しを行わないでください。**

ヒント

- トラブルを回避するために、退席される場合やすぐにメモリーカードをご使用にならない場合は、メモリーカードを取り出しておくことをお勧めします。

2. リーダー / ライターに関する注意事項

重要

- **スタンバイおよび休止状態をお使いになる場合は、パソコンの USB2.0 の機能を無効にしてください。USB2.0 の機能を有効のままお使いになると、スタンバイおよび休止状態からの復帰時に、「デバイスの取り外しの警告」のメッセージが表示されます。また、メモリーカードドライブが認識されなくなる場合があります。このような状態になった場合は、パソコンを立ち上げ直してください。**

参照

USB2.0 の機能を無効にする方法について→『使い勝手を良くする』1 章の「USB2.0 機能を無効にする」

故障かな？と思ったら

考えられる原因と対策

ご使用の際、不具合が生じましたら次の項目をチェックしてください。

●リーダー / ライターが正しく認識されない／ドライブアイコンが表示されない

考えられる原因	対処方法
ドライバーが正しくインストールされていますか？	・本書の「ドライバーのインストール」を参照し、ドライバーを正しくインストールしてください。
ほかの USB 接続の装置が接続されていますか？	・キーボードとマウス以外の USB 接続の装置を接続すると、リーダー／ライターの動作に影響をおよぼす場合がありますので、使用していない USB 接続の装置は取り外してご使用ください。
割り当て済みのネットワークドライブがありますか？	・Windows XP で割り当て済みのネットワークドライブがある時に、新しくリーダー / ライターを取り付けると、エクスプローラ上ではドライブが表示されない場合があります。 ・リーダー / ライターを別のドライブ文字に変更してください。 1.デスクトップ上の「マイコンピュータ」を右クリックし、「管理」をクリックします。 2.「コンピュータの管理」で「ディスクの管理」をクリックします。 3.右側のドライブの一覧で、リーダー / ライターの各ドライブ (CF,SM,MS,SD) を右クリックし、「ドライブ文字とパスの変更」をクリックします。 4.「変更」をクリックし、ドロップダウンリストボックスより、ネットワークドライブに割り当てられていない文字を選択します。 5.「OK」をクリックし、もう一度「OK」をクリックします。
BIOS の USB ポートが「Disabled」に設定されていませんか？	・「Enabled」に設定してください。

●「Microsoft Office」プロパティで表示されるファイルサイズがエクスプローラでのサイ
ズと異なる

考えられる原因	対処方法
Microsoft Office の仕様です。	次の条件のファイルを「Microsoft Office」で開いた場合に発生します。 ・エクスプローラで表示されるファイルサイズも単位が MB である ・エクスプローラで表示されるファイルサイズの小数第一位が 0 である ・エクスプローラで小数第二位まで表示される

●メモリーカードの読み取り / 書き込みが正しくできない

考えられる原因	対処方法
メモリーカードが正しく取り付けられていますか？	・メモリーカードを正しく取り付けてください。
メモリーカードが壊れていませんか？	・メモリーカードを交換してください。
メモリーカードが正しくフォーマットされていますか？	・フォーマットを行ってください。
ライトプロテクトされていませんか？	・メモリーカードをご確認ください。
データが破損していませんか？	・遅延書き込み中にメモリーカードのアクセスを終了した可能性があります。再度、データを書き込んでください。
NTFS などで暗号化されたデータではありませんか？	・権限のあるパソコンおよびユーザー名で、再度メモリーカードの読み取り／書き込みを行ってください。

●メモリーカードの情報が正しく読み取れない
（ボリュームラベルやファイルシステム情報など）

考えられる原因	対処方法
メモリーカードが正しくフォーマットされていますか？	・フォーマットを行ってください。
メモリーカードが正しく取り付けられていますか？	・メモリーカードを正しく取り付けてください。
メモリーカードの情報が正しくパソコンに認識されていません。	・メモリーカードを一度取り外したあと、再度挿入してください。
メモリーカードが壊れていませんか？	・メモリーカードを交換してください。

●ステータスモニターが動作しない／ステータスモニター上にドライブアイコンが表示されない

考えられる原因	対処方法
ステータスモニターが正常に動作していません。	・パソコンを立ち上げ直してください。

●１枚のメモリーカードを複数の機器で利用できない

考えられる原因	対処方法
基本的には利用できます。ただし、メモリーカードの容量が 32MB 以上の場合、パソコン上のフォーマットではファイルタイプが「FAT」、「FAT32」、「NTFS」になり、多くの周辺機器では「FAT32」「NTFS」のご使用はできません。	・各周辺機器側でフォーマットしてください。

●メモリーカードを取り出す時にエラーが発生する

考えられる原因	対処方法
コンピュータの管理者以外の権限でログインしていませんか？	・Windows の標準の設定では、セキュリティ上、管理者 (Windows XP:「コンピュータの管理者」,Windows 2000:「Administrators」以外の権限では、取り出しおよび初期化ができません。 「コントロールパネル」から設定を変更してください。

●メモリーカードの中にある画像データが表示できない

考えられる原因	対処方法
ビューアソフトのバージョンが古い、もしくは専用のビューアソフトが必要な場合があります。	・画像データの圧縮形式に対応していない場合がありますので、最新のバージョンに更新してご使用ください。

●メモリーカードを挿入した状態でWindows XPを起動すると「Checking file system」が表示される

考えられる原因	対処方法
大容量のメモリーカードをご使用された場合、本表示がされる場合があります。	・その画面のまま放置いただくと、自動的にファイルのチェックが行われます。その際、メモリーカードの容量により数分間時間がかかります。 ・大容量のメモリーカードをご使用の場合、スキャンディスクを行うことを推奨します。

●ステータスモニターが正常に動作しない

考えられる原因	対処方法
メモリーカードリーダ / ライタドライバー(Setup.exe) が、正しくインストールされていますか?	・本書の「プログラムのアンインストール」および「ドライバーのインストール」を参照しながらドライバーを一度アンインストールし、再度、インストールを行ってください。

上記の項目のチェックによっても変化がみられないときや、上記以外の故障や異常に気付いたときは、パソコンの電源を切ってお問い合わせ先にご連絡ください。

有寿命部品について

リーダー / ライターに使用しているアルミ電解コンデンサーは寿命のある部品です。
事務室で1日に約8時間、1カ月で25日間、通常に使用すると想定した場合、寿命は約5年です。したがって使用時間が上記より長い場合は、その分、寿命は短くなりますので、一定周期で有寿命部品単位を交換してください。

この機器の有寿命部品単位は装置交換になり、有償です。
購入については、お買い求め先にご連絡ください。
なお、交換した部品はリーダー / ライター購入時の部品と仕様が異なる場合があります。



他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

このマニュアルにおいて説明されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約に基づき同意書記載の管理責任者の管理のもとでのみ使用することができます。
それ以外の場合は該当ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。
Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corp.の登録商標です。
IBM、Microdrive(TM)(マイクロドライブ)は、IBM Corporationの商標です。
Compact Flash(TM)(コンパクトフラッシュ)およびCFは、米国SanDisk Corporationの商標です。
SD Memory Card(SDメモリーカード)は、株式会社 東芝、松下電器産業株式会社、米国SanDisk Corporationの共同開発によるメモリーカードです。
Multi Media Card(TM)(マルチメディアカード)は、独Infineon Technologies AGの商標であり、MMCA(Multi Media Card Association)にライセンスされています。
SmartMedia(TM)(スマートメディア)およびSmartMediaロゴは、株式会社 東芝の商標です。
MagicGate、MagicGateロゴ、MagicGate Memory Stick、MagicGate Memory Stickロゴ、マジックゲートメモリースティック、マジックゲートメモリースティックロゴ、Memory Stick、Memory Stickロゴ、メモリースティック、メモリースティックロゴ、Memory Stick Duo、Memory Stick Duoロゴ、メモリースティックDuo、メモリースティックDuoロゴはソニー株式会社の登録商標または商標です。
その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

マルチメモリーカードリーダ / ライタ取扱説明書

初 版　2003年4月

株式会社　日立製作所

インターネットプラットフォーム事業部

〒243-0435　神奈川県海老名市下今泉810番地
お問い合わせ先 :HCAセンタ　0120-2580-91